

# 原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/> Eメール [antiatom55@hotmail.com](mailto:antiatom55@hotmail.com) 2007年11月14日 No.13

日本  
原水協

## 緊急署名、12・4行動、被爆者基金を中央団体に申し入れ

日本原水協は緊急 100 万人署名、12・4行動、被爆者援護連帯 2000 万円募金について、東京・埼玉・神奈川の1都2県で事務局長会議を開き、11月12日から連日、加盟中央団体へ要請行動を行っています。

12日には国公労連、自治労連、全商連、日本医労連、自交総連など16団体を訪問。国公労連はすでに緊急100万人署名の通達を出していますが、それとは別に、12・4集会を入れた通達を新たに出すことにしています。自治労連は署名については、自治労連会館内の職員・家族から集める(200筆)、各県・支部に要請をする、12・4集会については、東京、埼玉、千葉、神奈川の県本部へ集会のチラシを100~200枚送り参加をよびかける、2000万円募金については、専用の郵便振替口座を開設し都道府県からの募金を受ける、ちひろのシールは500枚注文がありました。全商連は署名については、館内でまず集め、それから12・4集会とともに『商工新聞』で紹介する。自交総連からは翌日、さっそく署名用紙が届けられました。

全日本民医連 13日には、高草木博事務局長が全日本民医連の長瀬文雄事務局長、大河原貞人事務局次長に申し入れました。民医連はすでに、緊急署名用紙をおろし、被爆者検診など被爆者とのつながりを活かした取り組み強化と、都道府県原水協への集約を指示しています。長瀬事務局長は、厚労省の「検討会」などでの一部手直し指示などの動きを踏まえ、15日に広島で開かれる理事会であらためて緊急署名の取り組みを訴え、12・4行動への参加を働きかけること。さらに、今週末に広島国際会議場で1000名を超える規模で開かれる「学術・運動交流集会」での訴え、参加者への署名用紙とちひろの援護連帯募金シールの配布、さらに直接署名を訴えることにしています。また、ステッカーについても出来上がり次第、首都圏を中心に活用を検討してもらうことになりました。

新宿駅頭宣伝 日本原水協は11月24日(土)11時30分から1時間、新宿西口で12・4行動を成功させるための駅頭宣伝・署名行動を行います。被爆者を励ますために代表を送ってもらうとともに、全国で国民へのアピール行動に取り組みましよう。

## 6・9 行 動 「非核日本宣言して平和の外交で役割果たせ」の訴えに関心



兵庫県原水協は9日夕方、神戸市中央区の元町商店街で、核兵器廃絶などを訴える「6・9行動」を行いました。

県原水協の梶本修史事務局長などがマイクで、「日本政府は、核兵器廃絶・非核三原則厳守などを宣言して世界の平和実現にイニシアをとれ」など

と訴えました。そして、「皆さんからの署名で、今、開会中の国連総会と国会へ働きかけよう」と呼びかけました。11人の参加で訴え、「すみやか」署名81人分と、「緊急100万人署名」61人分が集められました。

ちひろカレンダー

絵に魅せられた仲間が協力してくれる

和歌山県岩出市の山林恵美子さんは、「毎年一人でも多くの人に」との思いでちひろカレンダーの普及に取り組んでいます。趣味で行っている絵本の読み聞かせの会の仲間にも声をかけると、ちひろの絵に魅せられている仲間がすぐに協力してくれたといいます。昨年30部を普及した山林さんは、今年は35部を目標にしています。